

平成23年度特別研修員研修

技術・家庭科
技術分野

専門高校との連携を取り入れた

「STH学習プラン集」の作成と活用

— 技術と社会や環境とのかかわりについて考えさせる学習の充実を目指して —

技術班 長谷部 秀樹 (中学校教諭)

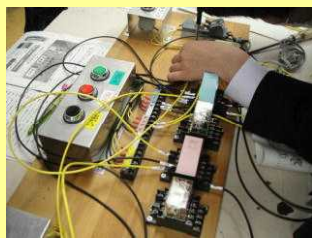
プラン集に基づいた 出前授業の実践

シーケンス制御
～早押しボタンの製作～
(藤岡工業高校との連携)



配線作業

シーケンス制御の仕組みが分かってきたぞ。



早押し解答ボタン

造園空間の管理
～樹木の剪定作業～
(藤岡北高校との連携)



剪定作業

全体を見ながら刈り込まないとね。



剪定後の庭木

専門的な技術に触れ、技術と社会や環境とのかかわりについて考える

専門高校の取組に触れ、指導の工夫・改善に役立てる

出前授業

訪問実習 イベント

学習プラン集をもとにした授業実践

生徒の技術に関する考えが深まる

事前打合せ・協議

教師の指導の手立てが分かる

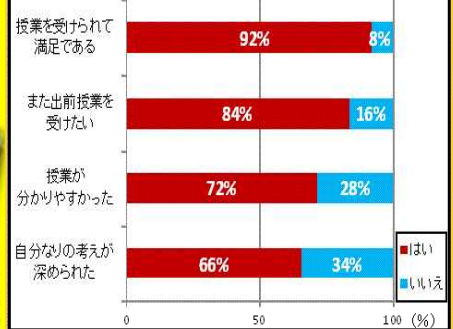
**地域の専門高校との連携を取り入れた
学習プラン集の作成**

技術と社会とのかかわりについての関心が低い **現状**

発展的・専門的な指導の充実を図りたい

出前授業のアンケートより

藤岡工業高校：出前授業

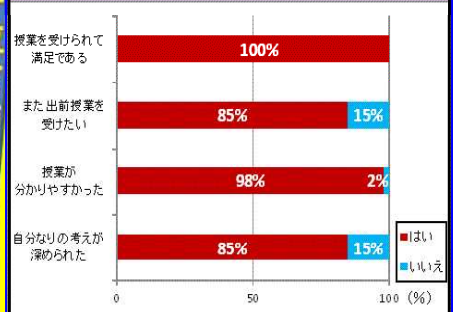


<生徒の感想>

- 高校では何を学ぶか分からなくて不安だったが、実際に高校の先生の授業を受けて理解できたので、少し安心した。
- 授業で体験した技術が信号機や自販機などにも使われていることを知り、計測・制御を身近に感じるようになった。

技術への興味・関心が高まった

藤岡北高校：出前授業



<生徒の感想>

- 身近なテーマパークを例に造園について説明してくれたのでよく理解できた。
- 剪定作業の時間は短かったけれど、少し人間が手を入れてあげるだけで、庭木の外観がとてもきれいになった。
- 自宅の庭の樹木を剪定してみたいと思った。

技術の活用への意欲が高まった

研究のまとめ

リレーシーケンスやシーケンサーなどの専門的な計測・制御システムや、庭木の剪定などの造園技術についての学習を通して、多くの生徒が、日常ではなかなか経験できない専門高校の教員による授業を受けられて満足であると答えた。また、授業内で触れた、計測・制御システムや造園の技術が、社会でどのように活用されているかを知ることによって、環境に配慮した技術の利用や活用について考えを深めることができた。

今後は、出前授業、訪問実習、イベントの三つの連携形態を継続しながら、人数、時間、費用面も考慮し、継続的に実践できる連携形態の検討、活動内容の改善など、学習プランの充実・改善を図っていく必要がある。